

令和7年度都立片倉高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける	・定期考査問題の同一科目共通化を目指す ・全学年で小テスト(漢字、古文単語、入試頻出問題集確認)の定期的・継続的实施を目指す	・漢字検定の校内での複数回実施 ・全校での短歌の創作とコンクールへの投稿 ・小論文模試を年3回実施
数学	・数学的なものの見方を身に付ける。 ・視覚的な授業展開を実施する。	・定期考査問題で同一科目共通化を徹底する。 ・ICT機器を用いた授業を積極的に行う。	・生徒が能動的に参加できる参加型の授業をとりいれる ・ICT機器の機能を用いて、他者と知の共有を行う。
地歴公民	実社会に必要な地歴公民科の知識・技能の定着。	・同一科目で定期考査問題の一部共通化を目指し検討する。 ・教科内で個々教員の教材研究を共有化して、科目ごとの教科指導力の底上げを目指す。	・生徒が能動的に参加できる参加型の授業をとりいれる(班ごとの課題研究及び発表)
理科	・学習内容の精選 ・生徒が主体的に取り組む学習活動の充実	・学習内容を精選し、基礎・基本の確実な定着を図る。 ・同一科目で定期考査問題の一部共通化を目指し検討する。	・実験や観察などの活動を定期的に行う。 ・ICT機器を活用させ、探究や発表など班活動の活性化を図る。
英語	基礎・基本の充実	・同一科目で、定期考査問題を共通にて実施する。 ・外部の到達度テストや模試を活かし、各生徒の目標達成度を測り、把握する。 ・ICT機器や動画配信を活用して、苦手克服を目指す。	・JETとのTTを利用し、生徒の発話機会を増やす。 ・英語検定受験を想定した、4技能を培う活動を取り入れる。